

お知らせ

毎週水曜日の午後3時から諏訪部鐵工所事務所前にてパン・惣菜の販売を行っています。

岩 沢 通 信

第69号

2018年5月25日創刊

発行 岩沢アチコタネーゼ

岩沢地域振興協議会・岩沢分館

編集 石曾根 徹(地域づくり支援員)

学生インターン地域で活動



岩沢アチコタネーゼは8月4日より15日までの間、4年ぶりとなる学生インターンの受入を行い岩沢を中心として市内各地で活動を行った。
今回は男性2名と女性1名の計3名が山紫2階を拠点として岩山の露店風呂の再整備やアチコタネーゼの看板作成、小泉農産での農業体験や市内観光スポットの情報発信を行った。11日には東山でイン

ターン1期生3人と合流し、闘牛鑑賞の後、夜は懇親会も開催。活動最終日の15日には岩沢まつりに参加し、アチコタネーゼの出店の手伝いや花火鑑賞を楽しんだ。
次回は8月29日に上ノ山の市民学習センター「楽集館」で学生インターンの会を主催する法政大学の岡司教授と共に成果報告会を行う予定である。

地域の皆様にお礼申し上げます

岩沢アチコタネーゼでは、この夏学生インターンの受入を久しぶりに再開し、地域で様々な活動を行わせていただきました。滞在中は小泉農産さんに農業体験の受入を行っていただいたり、デイホームでは参加のおばあちゃんたちと一緒に昼食を食べお話を聞かせていただきました。また、地域住民の方から野菜など多くの差し入れをいただきました。心から感謝申し上げます。

アチコタネーゼは今後も地域活性化に向けた活動を行ってまいりますので、引き続きご理解ご協力をぜひお願いいたします。

岩沢アチコタネーゼ
副代表 駒井 和彦



新たな地域貢献として

パン・惣菜の出張販売好評

7月から始まったワークショップや片貝の忠七商店による岩沢での出張販売が認知されてきた。

岩沢福祉会の仲介で隔週水曜日の午後2時半頃から住民センター、3時から諏訪部鉄工所事務所前の駐車場での出張販売が開始されて約1ヶ月半経った。徐々に固定客も増え、楽しみにしている方も多いという。

当初はパンのみの販売予定であったが、ワークショップが想はごま豆腐やケチャップライス、ケーキ類なども追加。そして片貝の忠七商店も加

わり、揚げ物や煮物など、商品のバリエーションも広がった。また、8月からは本町で営業する堀儀菓子店も販売に参加。得意の豆大福やおこね、饅頭などが並び更に充実した出張販売となっている。



中山間地懇談会開催

毎年、地域づくり支援員のいる地域の持ち回りで開催されている「中山間地懇談会」が、7月13日に今年度担当の真人ふれあい交流館で行われた。来賓には宮崎小千



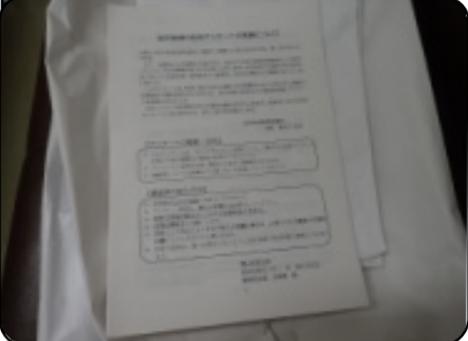
谷市長とにぎわい交流課佐藤課長安達係長が招かれ、中山間地の抱える共通の問題に対して活発な意見交換がなされた。岩沢の長谷川振興会長からは地域組織について「現在は町内会長協議会を長年やってきている人がいるが、今後町内会長は何かなるにしても、協議会長は無理である人が多い。また町内会費約4万円も大きな負担になっている」との意見が出された。



アンケート調査がスタート

岩沢地域での振興会に対する認識や今後の行事に対する考え方を問う中学生以上の全住民アンケートが始まり、今月の回収段階に入った。

今年度の振興会の事業の一環で、人口減少が顕著に進行していく中で、組織のあり方や各種行事の見直しを行う過程で、住民の考えを知りたいという目的で行うものである。アンケートは役員の手により回収され、今後分析をした中で町民にフィードバックされる。



長谷川正夫振興会長は「今後の振興会の運営や行事に対して皆さんがどのようになっているのか非常に興味がある。アンケートを聞きっぱなしにするのではなく、しっかりと反映させていきたい」と話す。

気づ南會万灯運行のお礼

気づ南會は地域の皆様のご厚情により、お陰



様で今年も無事に万灯の制作を終えて出陣することができました。改めまして会を代表して、御礼申し上げます。

今年も会員で力を合わせ、一から万灯を制作させていただき、地域の皆様に私たちの頑張りの結晶をお披露目できたことを心から嬉しく思います。これからも地域と繋がっていきけるような活動をさせていただきたいと思っております。

今後とも温かく見守っていただき、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

気づ南會 会長 庭野 優也



編集後記

今回の記事に全て掲載しませんでした。7月の中旬から下旬にかけて真人、川井、塩殿、岩沢そして時には東山を含めた懇談会や懇親会が3回開催されました。どれもいわゆる小千谷市の中山間地の代表が集まって、共通の課題を話し合うものです。

どの地域も、少子高齢化や耕作放棄、地域運営組織の維持など共通の悩みを抱えています。特に南部学区の懇談会では生徒・児童の減少が顕著であり、いかに存続させていくかが話題の中心となりました。また、塩殿の総合支援学校は今年創立10周年記念式典を開催するとの明るい話題も提供されました。なお、会議の詳細は後日発行される南部地域の広報誌「ミックス」にてお知らせします。

